

令和7年度鳥取県トップアスリート（オリンピック・パラリンピアン）派遣事業
事業実施報告書

<p>学 校 名</p>	<p>鳥取市立青谷中学校</p>
<p>記載責任者</p>	<p>岡村 香</p>
<p>事業結果概要</p>	<p>・狩野美雪氏の講演会では、目標達成のプロセスは人それぞれであることや、互いのプロセスの違いを尊重し合うことの大切さを伝えていただいた。狩野氏が中学まで他競技に取り組んでおられ、社会人になってからオリンピックを意識したことは、生徒たちの心に残ったようである。「夢を持つのに遅すぎるということはない」という言葉に励まされた生徒が多かった。</p> <p>・デフバレーボール体験では、言葉や音の無いコミュニケーションの難しさを感じながらも、相手に情報や気持ちを伝える方法を考えながら体験することができた。様々な方法でのコミュニケーションがあることを知り、生徒たちは相手に伝えようとする気持ちを大事にしたいと感じたようであった。</p> <div data-bbox="416 786 1425 1005" data-label="Image"> </div> <p><生徒の感想より></p> <p>・講演を聴いて印象に残ったのは、目標の設定の仕方についてのお話です。「頂上を見て、それを目指して登って行く人」も「中間に目標を置き、登る人」も「足元を見て、少しずつ歩く人」も、互いを理解して尊重することが大切だと感じました。</p> <p>・私は狩野さんのお話を聴いて、人はいつからでもオリンピックを目指せる＝夢を持つことができる、とわかりました。自分の今の立ち位置を嘆くのではなく、頂点を目指して行動していきたいと思いました。</p> <p>・狩野さんのお話を聴いて、目標までの進み方は人それぞれであり、嫌だと思ったことも続けていれば、大きく花開くこともあるとわかりました。</p> <p>・狩野さんは中学生までバレー以外のスポーツをしておられたと聞いて、自分が今やっていないことでも、将来なりたいことを目指していいんだと思えました。前よりも、デフバレーのことを知れてよかったです。試合も見たいと思いました。</p> <p>・デフバレーは、声や音で知らせることができないので難しかったけど、その分、表情や動きといった方法でコミュニケーションが取れることがわかりました。聞こえない方がおられたら、大きく口を開けて伝わるように表現したいです。</p> <div data-bbox="416 1832 1410 2040" data-label="Image"> </div>